

# 直島未来会議

代表者 三宅 佑佳 (経済学部地域社会システム学科3年)

## 1. 目的と概要

### 【目的】

#### **【直島の未来について考えること】**

本事業では、年齢や性別、職業を問わず、直島町をよりよくしたいという思いのある町民が一堂に会し、直島町の現状と課題について互いに議論し、直島町の未来について深く考える機会をもつことを目的としている。

2度の瀬戸内国際芸術祭開催を経て直島を訪れる観光客が増加する一方、直島町の人口減少は進み、直島町を取り巻く社会環境は著しく変化している。これらの状況のもと直島町の未来を考える場を設けることは、これからの直島町にとって大きな意義をもつと言える。

### 【概要】

#### **【直島の住民と学生とが共同で直島の現状を振り返り、直島の「これから」を考える場を設ける】**

直島町民を対象とする「直島未来会議」と題したワークショップを開催し、互いの自由な意見交換を通じて、町民間の交流を深めるとともに、直島の現状と課題を議論し、直島町の“これから”について考える場を設ける。

ここで得られた成果については、これからの直島町の政策の一助となるよう、最終的には町民や直島町に報告する。

## 2. 実施期間（実施日）

平成26年7月14日 から 平成27年3月31日まで

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

### 【実施主体】

香川大学直島地域活性化プロジェクト

…直島において香川大学生が主体となって地域活性化を目的とした活動を行う団体。

平成17年10月に発足し、平成18年8月5日に直島の本村地区にて「和 cafe ぐう」

を開業した。以降、カフェの運営を中心に、直島の子どもたちを対象とした環境をテーマとしたイベントを開催したり、地域行事に参加したり、と様々な活動を行っている。

## [実施内容]

職業や性別を問わず、50歳以下の直島の未来を担う、直島に住んでいる人及び直島で働いている人を対象に、ブレインストーミング法を用いたワークショップを4回に渡って実施した。

### 第1回 直島未来会議

日時: 10月27日(月)  
19:15~21:00(18:45~受付開始)  
場所: 直島町役場2階 大会議室

#### 内容

今回の第1回直島未来会議は、ワークショップを通じて「直島の魅力」を話し合います。

#### テーマ

- > 第1回「直島の魅力」(10月27日)
- 第2回「直島の魅力の活かし方」(11月10日)
- 第3回「直島の課題」(12月1日)
- 第4回「直島の課題の解決策」(12月15日)

直島にお住まい、若しくは直島で働いていらっしゃる方  
みんなで直島についてお話ししましょう!  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。  
対象は50歳以下とさせていただきます。

主催: 香川大学直島地域活性化プロジェクト  
協賛: 直島町、直島町教育委員会

直島未来会議は、香川大学チャレンジプロジェクトに採択され、ご支援をいただいております。

#### 直島未来会議の趣旨説明

二度の瀬戸内国際芸術祭を経て、観光客の増加など直島の環境は著しく変化しています。こういった状況のもと、直島でさまざまな立場の人々が一堂に会し直島について深く考える機会をもつことは、これからの直島町にとって大きな意義をもつといえます。そこで、「直島未来会議」と題したワークショップを開催し、互いの自由な意見交換を通じて、交流を深めるとともに直島の現状を知り、「これから」について考える場を設けたいと考えております。

10月、11月のそれぞれ1回、12月に2回の全4回開催する予定で、ワークショップを行い、これらを通して、これからの直島町の政策の一助となるよう、意見を出し合い、最終的には町民や直島町に報告したいと考えております。

香川大学直島地域活性化プロジェクトでは、直島において香川大学生が主体となり地域活性化を目的とした活動を行っています。平成17年10月にプロジェクトが発足し、平成18年8月5日直島の本村地区にて「和 cafe ぐら」を開業しました。今年、直島プロジェクトは9周年を迎え、また「和 cafe ぐら」は8周年を迎えることができました。私たちはこの「和 cafe ぐら」を中心に直島や香川県内外で地域活性化に向けた取り組みを行っています。

#### ●最近の直島での取り組み

直島プロジェクトでは「和 cafe ぐら」の運営だけでなく、直島での様々なイベントに参加し、各種団体と連携をとりながら活動しています。火祭り、環境フェスタ、直島 AGAIN! では毎年出店の機会を頂いております。また、直島 AGAIN! ではステージにも立たせて頂きました。そして、月に1度のういらぶ・なおしま定例会にも参加し、直島自然探検隊のスタッフとしても活動をしています。昨年は夏祭りで盆踊りに参加し、今年は町民体育祭のルーにもチーム「和 cafe ぐら」として出場しました。

連絡先: wa\_cafe\_goo@yahoo.co.jp

Facebook: 「香川大学直島地域活性化プロジェクト」で検索

### 第2回 直島未来会議

日時: 11月10日(月)  
19:15~21:00(18:45~受付開始)  
場所: 直島町役場2階 大会議室

#### 内容

今回の第2回直島未来会議は、ワークショップを通じて「直島の魅力」を話し合います。

#### テーマ

- > 第1回「直島の魅力」(10月27日)
- > 第2回「直島の魅力の活かし方」(11月10日)
- 第3回「直島の課題」(12月1日)
- 第4回「直島の課題の解決策」(12月15日)

直島にお住まい、若しくは直島で働いていらっしゃる方  
みんなで直島についてお話ししましょう!  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。  
対象は50歳以下とさせていただきます。

主催: 香川大学直島地域活性化プロジェクト  
協賛: 直島町、直島町教育委員会

直島未来会議は、香川大学チャレンジプロジェクトに採択され、ご支援をいただいております。

### 第3回 直島未来会議

日時: 12月15日(月)  
19:15~21:00(18:45~受付開始)  
場所: 直島町役場2階 大会議室

#### 内容

今回の第3回直島未来会議は、ワークショップを通じて「直島の課題」を話し合います。

#### テーマ

- > 第1回「直島の魅力」(10月27日)
- > 第2回「直島の魅力の活かし方」(11月10日)
- > 第3回「直島の課題」(12月15日)
- 第4回「直島の課題の解決策」(1月19日)

※第4回は1月19日を実施しての予定ですが、悪天候のため12月15日に延期させていただきます。それによって第4回は1月19日に延期させていただきます。

直島にお住まい、若しくは直島で働いていらっしゃる方  
みんなで直島についてお話ししましょう!  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。  
対象は50歳以下とさせていただきます。

主催: 香川大学直島地域活性化プロジェクト  
協賛: 直島町、直島町教育委員会

直島未来会議は、香川大学チャレンジプロジェクトに採択され、ご支援をいただいております。

### 第4回 直島未来会議

日時: 1月19日(月)  
19:15~21:00(18:45~受付開始)  
場所: 直島町役場2階 大会議室

#### 内容

今回の第4回直島未来会議は、ワークショップを通じて「直島の課題の解決策」を話し合います。

#### テーマ

- > 第1回「直島の魅力」(10月27日)
- > 第2回「直島の魅力の活かし方」(11月10日)
- > 第3回「直島の課題」(12月15日)
- > 第4回「直島の課題の解決策」(1月19日)

直島にお住まい、若しくは直島で働いていらっしゃる方  
みんなで直島についてお話ししましょう!  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。  
対象は50歳以下とさせていただきます。

主催: 香川大学直島地域活性化プロジェクト  
協賛: 直島町、直島町教育委員会

直島未来会議は、香川大学チャレンジプロジェクトに採択され、ご支援をいただいております。

●第1回

10月27日(月)19:15~21:00(受付:18:30~) 於 直島町役場会議室

テーマ【直島の魅力を知ろう】

目標

参加者が感じている直島の魅力について、ワークショップを通じて、確認・整理する。  
参加者が意見を出し合うことで、今までに気づいていなかった直島の魅力を再発見する機会とする。

参加者

44名(うち学生15名)



直島町長からのお言葉



集合写真



ワークショップの様子



発表風景

<p>◆自然・環境</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海 ・空気</li><li>・動物 ・星</li><li>・気候 ・災害が少ない</li><li>・ごみ、落書きが少ない</li></ul>	<p>◆生活</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インフラ整備</li><li>・コンパクトシティ</li><li>・治安が良い</li><li>・店が多い</li></ul>	<p>◆機会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国際的</li><li>・イベントが多い (AGAIN! きらめき、火祭り)</li><li>・スポーツが盛ん</li><li>・高齢者も楽しめる行事</li></ul>
<p>◆△</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・おすそ分けの文化</li><li>・みんな知り合い</li><li>・ご近所付き合い</li><li>・気さく、フレンドリー</li><li>・子どもが素直</li><li>・地元愛がある</li></ul>	<p>◆ア-上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・島と美術館の融合</li><li>・役場</li><li>・島民割!</li><li>・建築</li></ul>	<p>◆食</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・魚介 (たこ鯛、のり、カニ、 げた、ハマチ)</li><li>・塩</li><li>・カフェが多い</li><li>・イワタコンフェクトの カステラ</li></ul>
<p>◆教育</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・英語教育</li><li>・グラウンドが広い</li><li>・子育てしやすい</li></ul>	<p>◆伝統・文化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・太鼓、女文楽</li><li>・神社</li><li>・金</li><li>・祭り</li><li>・町並み (古民家、路地、屋号)</li></ul>	<p>◆仕事</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・働くところが多い</li><li>・産業のバランス</li></ul>

第1回ワークショップまとめ

●第2回

11月10日(月)19:15~21:00(受付:18:30~) 於 直島町役場会議室

テーマ【直島の魅力を活かそう】

目標

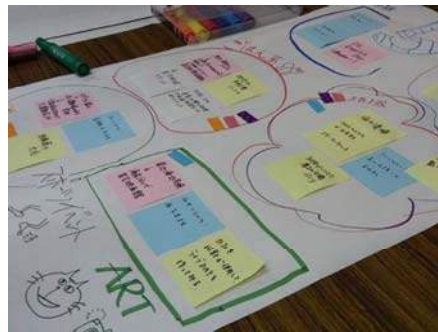
第1回のワークショップの結果で得られた「直島の魅力」をもとに、ワークショップを通じて、参加者が主体的となった直島の魅力を活かす方法や、魅力を発信する方法を考える。

参加者

40名(うち学生15名)



未来を担う子供たちも参加



集合写真

<1班>

企画名	直島ハロウィン
目的	島内の観光スポットを歩いてまわってもらうことで島の魅力を体感してもらう
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月31日頃の土日(2016年以外)</li> <li>・赤かぼちゃ発南島経由宮浦港</li> <li>・島内外問わず自由参加</li> <li>・移動手段は徒歩</li> <li>・イベントのプレス送信</li> <li>・仮装姿でアート施設鑑賞</li> <li>・仮装姿でアート施設やカフェに入り「Trick or treat」と言うと割引が受けられる</li> </ul>

<2班>

企画名	女文楽再発見
目的	自分たちが楽しむとともに女文楽について知る
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習しているところの見学</li> <li>・現代語でわかりやすく</li> <li>・youtube</li> <li>・子どもが演じる</li> <li>・アニメの曲に</li> <li>・歌を子どもに練習してもらう</li> <li>・着ボイス</li> <li>・ゆるキャラ</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはやっている人に会いに行く</li> <li>・団員を募る</li> </ul>

<3班>

企画名	島つつじを描こう!!
目的	島の魅力の再発見
概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>①春(つつじの季節)</li> <li>②直島</li> <li>③島に住んでいる人(年齢制限なし)</li> <li>④島の電柱を使って展示をする <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞をつける</li> <li>・入賞特典あり</li> </ul> </li> </ol>

<4班>

企画名	まるごと!直島体験 ~そここと君と出会いたい~
目的	島民と観光客の交流
概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>①海ホテルを見ながら夜釣りをしよう! 夏の夜につり公園(積浦もあり?)にて島民の手ほどきのもと、海ホテルの観賞+釣り</li> <li>②ゴミ拾いをしてお得に観光しよう! ゴミ拾いをしたら家プロツアー無料やカフェでの飲食に割引をもらえる</li> <li>③2016年の芸術祭に向けて 角屋のように島民+観光客で作るアート作品制作</li> </ol>

<5班>

企画名	島の料理教室
目的	家庭料理を通じてお年寄りから若い人まで、直島の人間同士で交流できる場を作る
概要	<p>いつ:年4回開催(好評なら毎年)</p> <p>どこで:公民館</p> <p>誰が:様々な世代の島民 (講師は地域のお年寄り)</p> <p>ポイント:・都会ではあまりできない 世代間の密な交流ができる ・家庭に眠っていた魅力的な味に出会える</p>

第2回ワークショップ  
まとめ

『おばあちゃんのマブダチが  
できる』

●第3回

12月10日(月)19:15~21:00(受付:18:30~) 於 直島町役場会議室

テーマ【直島が抱える課題とは】

目標

参加者が感じている直島の課題について、ワークショップを通じて、確認・整理する。参加者が意見を出し合うことで、直島が抱える課題について共通の認識を持つ機会とする。

参加者

31名(うち学生11名)



直島副町長のお言葉



ワークショップの様子

- ◆インフラ
  - <島内>
  - ・外灯が少ない
  - ・道が狭い
  - ・夜が暗い
  - ・歩いて回るのは大変
  - ・団体時の移動手段
  - ・自転車が多い
  - ・道が狭い
  - ・道がでこぼこ
  - ・観光客によるバスの混雑
  - ・坂道が多い
  - <島外>
  - ・船の便が少ない
  - ・深夜便がなくなった
  - ・風が吹くと船が止まる
  - ・他の交通機関との接続
  - ・船賃が高い
  - ・行列が長い
- ◆医療・福祉
  - ・医療機関が少ない
  - ・急病時の対応
  - ・バリアフリー対応
  - ・産婦人科がない
  - ・大規模な病院がない
  - ・介護施設が今後不足する
- ◆環境
  - ・虫が多い
  - ・獣害(イノシシ、タヌキ、鹿)
  - ・ゴミの分別不足
  - ・ゴミのポイ捨ての増加
  - ・海ゴミが多い
- ◆観光客
  - ・交通マナーが悪い
  - ・ディズニーランド感覚の観光客が多い
  - ・冬場の来島者が少ない
  - ・まわり方がせわしない
  - 直島の良さを味わえていない
  - ・住民との交流がない
  - ・何もわからずに来る観光客が多い
- ◆移住
  - ・不動産情報の不足
  - ・住宅不足
  - ・内の繋がりが強いために入り込めない
  - ・近所同士が仲良し
  - ・島民と移住者の交流がない
  - ・空き家が活用できていない
  - ・アパマンでヒットしない
  - ・内輪っばい
  - ・ツテを頼らないと空き家が借りられない
- ◆将来
  - ・環境センターでの産廃処理後は?
  - ・伝統文化の継承問題
  - ・ガイドやバス運転手の年齢が高い
  - ・現存のイベントの更なる発展
  - ・人口減少
  - ・活性化・これからの直島が目指すべき方向が明確でない
  - ・各組織間の協力体制がない
  - ・組織ごとの目指しているものが異なる
  - ・残したいものが忘れられつつある(88ヶ所巡り等)
  - ・島の歴史や今生きている人が知っている知識が受け継がれない
- ◆買い物
  - ・コンビニ・GSの閉店が早い
  - ・市場がない
  - ・物価が高い→島外で買う
  - ・駄菓子屋、薬局がない
  - ・品揃えが少ない
- ◆飲食店
  - ・オフシーズンに休むお店が多い
  - ・月曜日や夜の営業がないお店が多い
  - ・団体受け入れができないお店が多い
  - ・モーニング営業が少ない
  - ・メニューが限られている
  - ・飲食店が少ない
  - ・地元の料理、魚を楽しむことができない
  - ・価格が高い
  - ・クレジットカードが使えない
- ◆子ども
  - ・少子高齢化
  - ・お祭りの規模縮小
  - ・高校がない
  - ・大人数の部活ができない
- ◆その他
  - ・免許の更新が大変
  - ・郵便番号検索がおかしい
  - ・“離島対策”
  - ・夜お金を下せない
  - ・発信をする人が少ない
  - ・施設を活かせていない
  - ・グラウンドに芝生がほしい
  - ・子どもの遊び場がほしい
  - ・宿題が多い
- ◆おもてなし
  - ・本村港の英語案内がわかりにくい
  - ・英語対応が難しい
- ◆ライフライン・防災
  - ・停電が多い
  - ・たまに水道が止まる
  - ・災害時の避難場所がない

第3回ワークショップ  
まとめ

●第4回

1月19日(月)19:15~21:00(受付:18:30~) 於 直島町役場会議室

テーマ【直島が抱える課題を解決するために】

目標

第3回のワークショップの結果で得られた「直島の課題」をもとに、ワークショップを通じて、参加者が主体となった直島の課題を解決する方法を考える。

参加者

29名(うち学生13名)



模造紙



ワークショップの様子

<1班>	<2班>
<p>課題 観光客のまわり方がせわしない</p>	<p>課題 直島の良さを味わえていない観光客がいる</p>
<p>理由 ART以外にも魅力がある！ もったいない！</p>	<p>理由 リピーターを増やしたい 良さをもっと知ってもらいたい</p>
<p>解決策 ①おすすめスポットでの具体的な 過ごし方の紹介 ②無料休憩所の設置 ↓ 直島の本来の良さや住民との 交流を促す</p>	<p>解決策 ・アンケート、ワークショップ →町民に直島の良さを聞いてみる ワークショップ参加者を中心に… ↓ <u>直島をPR!</u> &lt;場所&gt; &lt;方法&gt; ・バス ・看板 ・船 ・アナウンス ・海の駅 ・写真 ・飲食店 ・PV ・SNS、メディア ・パンフレット</p>
<3班>	<4班>
<p>課題 空き家</p>	<p>課題 名物料理がない</p>
<p>理由 今最もHOTな話題！</p>	<p>理由 直島といえばこれ！という食べ物を 食べてもらいたい</p>
<p>解決策 ☆空き家を使っでのイベント ・直島DASH村 ・直島で宝探し ・リフォームコンペ ↓ 島内外の人が交流</p>	<p>解決策 ・島内の飲食店が使いたい 野菜を町民に作ってもらい、 買い取る仕組み作り ・製練所の排熱を使って温室 を作って野菜を育てる →直島野菜！ ・ひまわり油や島で作った植物 で油を作る →その油で野菜を揚げてソラシオ をつけて食べる</p>

第4回  
ワークショップ  
まとめ

## [アンケート]

### ●項目

#### <参加者について>

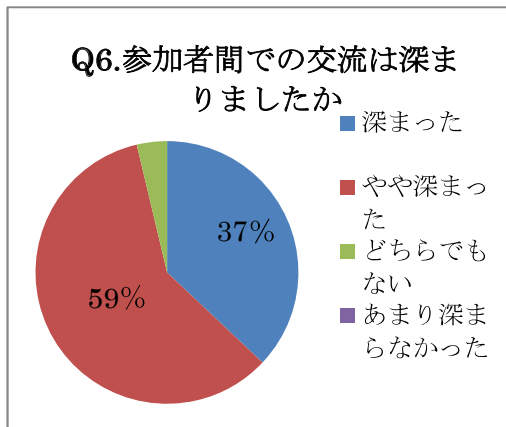
- 1・性別
- 2・年代
- 3・おすまい（島内/島外）
- 4・お仕事
- 5・未来会議への参加回数
- 6・未来会議をどこで知ったか

#### <ワークショップについて>

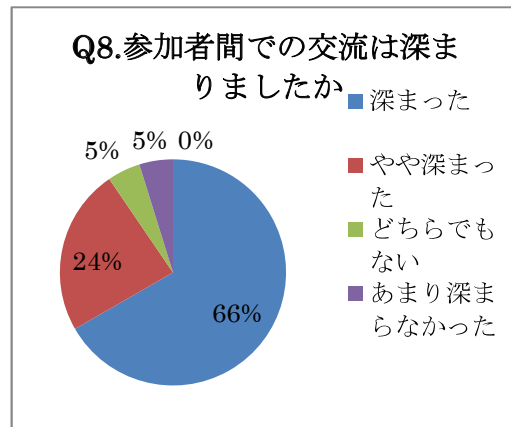
- 1・テーマ設定は適切だったか
- 2・進行は適切だったか
- 3・長さは適切だったか
- 4・直島の魅力の再発見に繋がったか
- 5・直島への愛着が深まったか
- 6・参加者間での交流が深まったか
- 7・学生との交流が深まったか
- 8・開催日時は適切だったか
- 9・今後考えていきたいテーマ
- 10・今後学生とやってみいたいこと
- 11・ご意見、ご感想

### ●結果

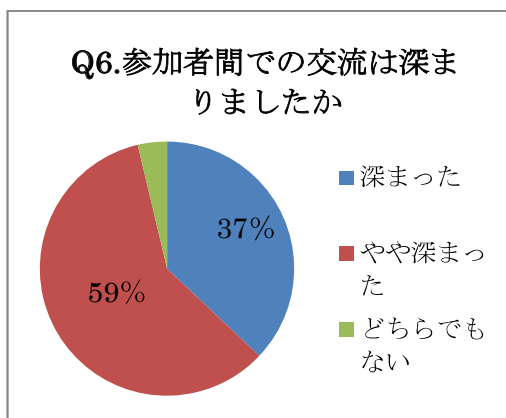
#### 第1回



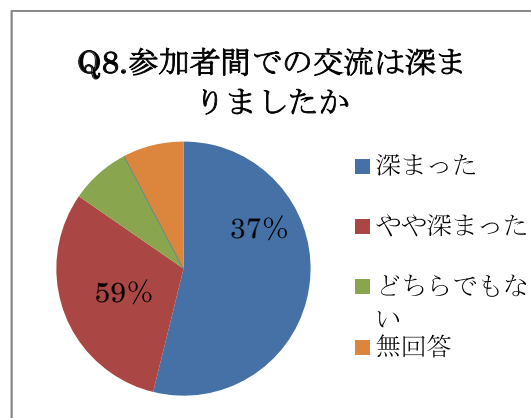
#### 第2回



#### 第3回



#### 第4回



前項の円グラフからもわかるように、<ワークショップについて>「6・参加者間での交流が深まったか」の項目は4回全て、参加者の90%以上が「深まった」または「やや深まった」と回答している。

「11・ご意見、ご感想」の欄からも「異業種間での交流」を重視する声は多く見受けられた。これまでに他企業・団体と直島について話し合う場があまりなかったこともあり、直島未来会議は新しい視点との出会いの場として、参加者同士の交流の場として有意義なものとなったと考えられる。

自由記述にしていた<ワークショップについて>の9~11の項目では、今回を”きっかけ”に、今後につなげていくことを望む意見が毎回多く得られた。回を重ねるごとに自由記述欄への回答数も増え、「これからも続けましょう!」「今回をもっと深めるワークショップがしたい!」と直島未来会議を継続する希望や、「ワークショップで出た案を実現させたい!」と、より発展させる意気込み等前向きなお言葉を頂いた。

## 【留意点】

### ①振り返り

第1回から第4回まで全てに参加しなければならない、とすると参加しづらいと考え、振り返りをしっかりと行うようにした。

ちらしの裏面に前回のワークショップのまとめを掲載したり、第2回以降の直島未来会議では会場に前回使用した模造紙を展示したり、ワークショップを行う前に説明を行ったり、と振り返りの時間をとることで全会への出席を義務付けず、参加しやすくなるように心がけた。

### ②雰囲気作り

第1回では参加者同士も初対面であることが多く、まだ打ち解けておらず、リラックスした雰囲気ではなかった。少しでも楽しく、ざっくばらんな意見交換ができるよう、会場をカラフルに飾り付けしたり、バックミュージックを流したり、と雰囲気作りにも気を配った。

### ③主体性

従来の行政が主催する意見交換会では、行政に対する要望や文句等、行政が主体となることを前提とした意見が出やすいとされる。

今回は、「自分たちならどのようなことがしたいか」「自分たちが関わるとしたらどのような方法があるか」等、自らを実施主体に想定した提案となるよう呼びかけたため、「行政任せ」ではない意見を引き出せるよう留意した。





#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本プロジェクトを通して、地域の方と交流する機会を多く持てた。直島町全戸に配布されている広報誌と一緒にチラシを配布して頂いたため、50歳以下という年齢制限を設けたために参加できなかった方からも「香川大学生がこんな活動してたんだね。」「ちらし見たけど面白くて近所の人と話してたんよ。」と声をかけて頂くことも増え、夢チャレンジプロジェクトについてや、直島プロジェクトについて、より多くの方に知って頂くことができたと考えられる。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

##### 【地域とのつながり】

直島町・直島町教育委員会のご協賛を頂き、特にワークショップの予告チラシの町の広報誌への差し込みや、会場提供の面でご協力・応援して頂いた。4回全てに直島町長及び副町長がお越しになり、コメントも下さった。

直島町・直島町教育委員会から応援して頂いての開催ということで、いつも以上に緊張感を持ち、事前準備に励むことができた。

本プロジェクトを始動させる際、ご協力やご参加のお願いのため、知り合いにご紹介頂きながら、趣旨や内容を説明する挨拶まわりを始めた。実施主体である「直島地域活性化プロジェクト」は2014年10月に9周年を迎えたプロジェクトだが、直島未来会議を通して新たな繋がりを開拓することができた。

また、直島未来会議開催にあたり、町議会議員の方へ挨拶に伺ったところ、「直島でもっと顔を売るべき」ということで直島での音楽イベントでのパフォーマンスの時間を頂いた。音楽イベントをきっかけに、計3度のパフォーマンスの機会を頂いたが、これまで直島プロジェクトを知らなかった住民の方からもお声掛け頂くことが増え、プロジェクト自体の認知度の向上にも繋がったと言える。

直島未来会議開催後、実際に「直島の観光マップについて学生の意見を聞きたい。」とお話を頂く等、単に直島未来会議を開催し、参加して頂くだけでなく、そこで築いた繋がりを活かしていけるのでは、と期待できる。

#### 6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

##### 【反省点】

●第3回は悪天候のため船の欠便が予想されたため、参加者・プロジェクトメンバー双方の安全を考えて延期とした。第1回、第2回と参加して下さった方には電話・メール等で延期の連絡をすることができたが、連絡が間に合わず会場に足を運んで下さった方もいたようである。今回は島特有の事情を考慮できていなかったために慌ただしく対処し、連絡に漏れもあったが、この経験を活かして今後は事前に連絡方法等の対策を立てていきたい。

●ワークショップの経験が少ないメンバーも多く、参加者の意見を重視するあまり学生の視点をなかなか活かさないこともあった。練習・経験を重ねることで、より参加者の

意見を引き出せるようになると考えられる。

●今回は直島のアート施設の休館日で、飲食店等も休業日であることの多い月曜日を選んでワークショップを開催したが、メンバーの時間割等を考慮しておらず、参加できるメンバーが限られてしまった。

### 【今後の抱負・計画】

●第3回が延期したこともあり、当初は1月を予定していた報告会を3月以降に行う予定である。直島未来会議で得られた結果をプロジェクトメンバーでさらに深め、事例調査等を行い、より具体的な状態で直島町に提案できれば、と考えている。

●申請時には予定していた、直島の未来を担う子供たちを対象とした企画やイベントを、直島未来会議に集中するために実施できなかったため、今後また別の形で実現していきたい。

●直島未来会議は、長期的な「直島の地域活性化」という目的に向けたPDCAサイクルのPLANにあたるプロジェクトである。直島未来会議を通して知ることのできた直島の魅力や課題等の情報をもとに、直島プロジェクトの「未来」の計画も立てていきたい。

### 【感想】

ヒアリングの際に、「大きなテーマですが、ぜひやりきって下さいね。」と背中を押して頂いた企画で、結果を出したいと思うあまり足踏みしてしまい、直島未来会議実施までに時間がかかってしまった。

「ワークショップの実施」だけでなく、そのための準備にも力を入れてきた。直島へ週に何度も訪れたり、これまで参加したことのなかった地域行事に参加させて頂いたり、ということを通して直島の魅力に触れ、もっと好きになることができた。また、9年間の直島プロジェクトとしての直島でのあり方を振り返り、地域への感謝の気持ちを再認識することにも繋がった。

今回得ることのできた繋がりや経験から、活動をより発展していきたい。

## 7. 実施メンバー

代表 三宅 佑佳（経済学部3年）

副代表 山本 眞慈（経済学部3年）

構成員 浮田 菜央（経済学部3年）

恩藤 拓也（経済学部3年）

小林 佳奈（経済学部3年）

七田 さおり（経済学部3年）

瀬尾 美咲（経済学部3年）

棚橋 恵大（経済学部3年）

林 彩香（経済学部3年）

藤本 高志（経済学部3年）

羽場 絵里奈（経済学部2年）

福本 真明（法学部2年）

美濃 聖（経済学部2年）

三宅 あずさ（経済学部2年）

吉見 健斗（教育学部2年）

植田 栞奈（経済学部1年）

近藤 海優（経済学部1年）

白川 亮（法学部1年）

三宅 由貴奈（経済学部 3 年）  
伊藤 友希（経済学部 4 年）  
大西 愛（経済学部 4 年）  
湯谷 千鶴子（経済学部 4 年）  
吉田 紘子（経済学部 4 年）

田中 恭亮（法学部 1 年）  
徳田 琴（経済学部 1 年）  
中村 圭佑（工学部 1 年）  
並川 貴大（工学部 1 年）  
八木 多聞（経済学部 1 年）